

## 令和2年度技術力維持・向上対策研修（実践研修） 中部ブロック研修を実施しました

林野庁では、市町村への指導・助言の役割を担うべき森林総合監理士をはじめとする技術者の水準の維持・向上を図ることを目的として、森林経営管理制度、地域の森林・林業の再生、林業の成長産業化に向けた課題をテーマに、現地検討及び討議を通じて現場レベルでの課題解決策を共有する研修として、今年度は全国6ブロックで実施しました。

中部ブロックでは、9月16日から18日の3日間、岐阜県中津川市において、「伐採・造林一貫作業システム（架線）と木材流通」をテーマに、県職員11名、国有林職員1名計12名が参加し実施しました。

伐期を迎えた林分の主伐を計画する上で、林地の状況等に応じた搬出方法の選択、低コスト造林や市場のニーズを踏まえた採材方法等について、課題解決の向上、実践的な指導・助言ができる技術者の育成を図ることとして、国有林の主伐・再造林事業地等を活用した現地検討・意見交換を実施し、研修会場にて発表・討議を行いました。

【1日目】開講式、「伐採・造林一貫作業システム」、「採材・仕分け」の講義の後、検討図面等により、机上での伐採計画の演習、現地確認箇所の踏査等準備を行いました。



開講式（開会挨拶）  
（中部局 川戸森林整備部長）



伐採・造林一貫作業の説明  
（森林整備課 加藤監査官）



伐採計画の演習（検討状況の発表）  
（資源活用課 佐々木企画官）



架線集材積算因子算出の演習

【2日目】中津川市内湯舟沢国有林の「伐採・造林一貫作業箇所」「架線集材検討予定地」「木材市場（木曽官材市売協同組合坂下事務所）」において現地検討・見学の後、研修会場の中津川市「にぎわいプラザ」に戻り発表準備を行いました。



現地概況説明  
(東濃森林管理署 小竹 森林技術指導官  
北沢 首席森林官)



架線集材現地踏査



架線集材現地踏査



流通販売について講義  
(木曽官材市売協同組合 鈴木常務)



樹種別製材品の説明



木材の採材等について講義



【3日目】前日に引き続き中津川市「にぎわいプラザ」において発表準備を行った後、作業システム・搬出方法、造林作業の省力化、流通・販売等について発表・ディスカッションを行いました。



1 班の発表



2 班の発表



3 班の発表



発表に対する質問



質問に対する回答



搬出計画に対する講評（大森上席指導官）



講評（演習総括 佐々木企画官）



閉講式  
（森林技術・支援センター 曾我所長）



集合写真

### ◎受講生へのアンケート結果（抜粋）

- ・ 架線集材について何の知識もなかったが、講師の方に丁寧に教えて頂き理解できた。
- ・ 主伐・再造林の基本を理解することができた。
- ・ 架線現場の設計指導・巡回指導に活用できる。
- ・ 販路まで見据えた一環作業は、地元でも要望が多く非常に有り難かった。
- ・ 伐・造一貫作業に取り組んでいる事業体の話が聞きたかった。
- ・ 各班に講師が専任でついていただいたのがとても良かった。
- ・ 受講生同士で意見交換する時間をもっと設けて欲しかった。
- ・ 集材方式や用語（機械等の名称）などの資料があると良かった。
- ・ 様々な点でコロナ感染防止対策に配慮いただいた。